

## 目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび 2021

2021年11月13日(土)～12月19日(日) 目黒区美術館 本館2階

10:00～18:00(入館は17:30まで) 月曜休館

一般 700(550) 円、大高生・65 歳以上 550(400) 円、中学生以下無料

\*障がいのある方とその付添者1名は無料、( ) 内は 20 名以上の団体料金

\*目黒区在住・在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります  
(他の割引との併用はできません)

主催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、展覧会の会期等が変更になる可能性があります。ご来館時の注意事項等も含め、開館状況を当館ホームページ等でご確認のうえご来館ください。

<https://www.mmat.jp>

### 概要

2020年1月頃より拡大した新型コロナウイルスの感染により、私たちは幾度かの緊急事態宣言による自粛生活を経験しました。外出や移動の自粛、マスクの着用など、私たちの生活の自由は様々に制限を受けました。

しかし、息苦しい生活の中にあっても、私たちの日々の暮らしの中にはちょっとしたよろこびがあります。

本展が開会した後、11月30日からは「障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび 2021」展を同時開催いたします。この同時開催展に関連し、本展では、当館のコレクションの中から、ほのかな心地よさや温もり、幸せなどを感じさせるような作品を取り上げ、私たちが何気ない日常の中で感じる「よろこび」に着目します。

苦しい状況の中にあっても、むしろそのような状況下でこそ、芸術は私たちの心に潤いを与えてくれることがあります。本展をとおり、美術館に足を運び作品を観ること自体が、私たちの暮らしの中の「日々のよろこび」となれば幸いです。



① 田中敦子《ターゲット》1962年 目黒区美術館蔵  
© Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association  
※4 ページ目の画像使用条件をよくご確認ください。

### 同時開催：障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび 2021

本展では、目黒区内の障害者通所施設に通う、障がいのあるアーティストたちの作品を紹介いたします。

会期：2021年11月30日(火)～12月19日(日)

会場：目黒区美術館 本館1階

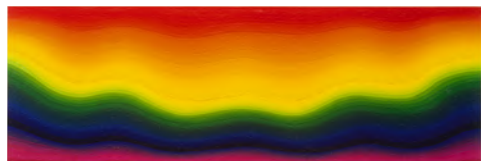
主催：目黒区、公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

※入場無料

## 展示構成

## 第1章 カラフル

鮮やかな色彩、豊かないろどりは、  
私たちの心を踊り立たせ、ワクワクさせます。



② 髪嘔《虹のエンパイラメント》  
1962年 目黒区美術館蔵

## 第2章 心地よさ：

## 柔らかな形、軽やかな線

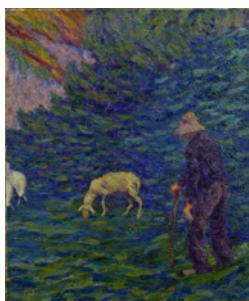
フワフワと柔かなものや浮かんでいるもの、  
シュッシュッと引かれた軽やかな線は、  
心地よさを感じさせます。



③ 土屋幸夫《箱根'71》 1971年 目黒区美術館蔵

## 第3章 光の中で

光は、温もりを生じさせるだけでなく、  
視覚的には明るさや色彩をも生み出します。  
光は、私たちに希望を与えてくれるものです。



④ 斎藤豊作《羊飼》 1906-12年 目黒区美術館蔵

## 第4章 笑いとユーモア、そして遊び

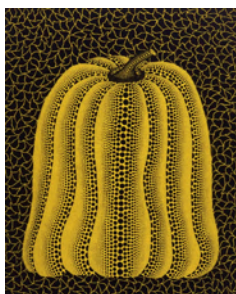
どんなに緊張して心が固くなっても、  
思わずクスッ、ニヤッとしてしまった時は、  
気持ちが緩みます。そして、大人でも子どもでも、  
遊びは人生を豊かにしてくれます。



⑤ 秋岡芳夫《蟻の巣みつけたよ》 1954年 目黒区美術館蔵

## 第5章 カワイイ

小動物や子どもなど、  
カワイイものは人の心を和ませます。  
近年は、日本文化を表すキーワードとしても  
用いられるようになりました。



⑥ 草間彌生《南瓜（黄）》 1982年 目黒区美術館蔵  
※申請に時間がかかります。  
4 ページ目の画像使用条件をよくご確認ください。

## 第6章 僕らはみんな生きている

何気ない日常の中でも、ふと生きていることが  
素晴らしいと感じる瞬間があります。  
コロナ禍の中で、一瞬マスクを外して吸った空気。  
汗をかいた後のシャワーのお湯の心地よさ。



⑦ 池田満寿夫《日光浴する貴婦人たち》  
1962年 目黒区美術館蔵

## 開催情報

タイトル	目黒区美術館コレクション展 日々のよろこび 2021
会 期	2021年11月13日(土)～12月19日(日)
会 場	目黒区美術館 本館 2 階
開館時間	10:00～18:00(入館は17:30まで)
休 館 日	月曜休館
観 覧 料	一般 700(550) 円、大高生・65 歳以上 550(400) 円、中学生以下無料 *障がいのある方とその付添者1名は無料、( ) 内は 20 名以上の団体料金 *目黒区在住・在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります(他の割引との併用はできません)
主 催	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
交通機関	JR 山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩 10 分 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩 20 分 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩 5 分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩 3 分
ホームページ	<a href="https://www.mmat.jp">https://www.mmat.jp</a>

## 関連催事

## 「トイで遊ぶ休日の昼下がり」

日時：会期中の土日及び祝日の 13:00～16:00

会場：2 階展示ロビー プレイコーナー

色や形が美しいだけでなく、積んで、組んで、並べて楽しい、当館収集のトイ(構成玩具)に実際に触れて頂けます。当館のトイコレクションボランティアチームがサポートします。

## 広報写真

本リリース掲載の写真画像の一部を本展広報用写真としてご提供いたします。

図版下①～⑦が図版番号です。ご希望の方は、申込用紙(4 ページ目)の内容をご確認の上、必要事項をお書き添えいただき、FAX でお申込みいただくか、同内容を本展担当者宛メールにてお申し込みください。

## 本展の問い合わせ先

目黒区美術館 展覧会担当(学芸) 山田・誉田 / 広報担当(事務) 竹森

〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36

TEL 03-3714-1201(代表) FAX 03-3715-9328(代表)

E-mail: [mmatoffice@mmat.jp](mailto:mmatoffice@mmat.jp) <http://www.mmat.jp>

宛先：目黒区美術館 〔担当〕 山田・竹森 宛て  
 FAX：03-3715-9328 e-mail：mmatoffice@mmat.jp

- 本票に必要事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の画像番号をお知らせ下さい。

お申し込み日	年 月 日		
御社名 ご担当者氏名			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
掲示媒体名 (雑誌名など)			
メディアの形態	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 ( ) 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ( )		
発行・放送予定日	年 月 日		
ご希望の画像	①～⑦のご希望の図版番号をご記入ください		
画像の使用条件等	<p>* 画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。        * データを第三者に渡すことは禁止いたします。使用后、データは破棄してください。        * 展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。        * 写真への文字載せ、画像加工(トリミング・色調整など)は不可です。        但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。        * キャプション、クレジットは必ず明記してください。        * 掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。Web サイトは公開後に URL をお知らせください。        * 当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。        * ①の画像については、        (1)右記のクレジットを記載 © Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association        (2)ウェブ上で使用する場合はコピーガードをかけ、長辺 400pixel 以下(72dpi)        * ⑥の画像については、        (1)入稿前に著作権者へ確認が必要です。最終原稿データを広報担当までお送りください。(申請に時間がかかります)        (2)web 掲載は 72dpi 以下。可能な場合は、コピーガードをかけ、画像転載不可と記載。        (3)別途掲載条件をメールでご連絡致します。</p>		
連絡欄			

- お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。  
 お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。
- 使用にあたっては、【画像の使用条件等】の内容をご了承いただくことが条件となります。  
 必ずご確認くださいませようお願いします。

◎ 本展を紹介して下さる媒体には、展覧会の招待券  
 (5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。  
 ご希望の方は下記にご記入ください。  
 読者プレゼント用招待券を [ 希望する ・ しない ]

<広報用画像に関する問い合わせ先>

目黒区美術館  
 TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328  
 展覧会担当(学芸):山田 / 誉田 広報担当(事務):竹森